

## 【つながりキャンプ】

### ①農村の活用案

#### 【コンセプト】

真岡市にキャンプに来た人が  
真岡の「人」とつながる  
「地域」とつながる  
「未来」とつながる



・観光  
・買い物 全ての機能を市内で完結  
・体験 など  
⇒観光や買い物、いちご狩りなどを通して  
真岡市の魅力を知ってもらう

### ②なぜ キャンプ なのか

- ①真岡の自然を体験してもらいたい
- ②空き家や休耕地の有効活用
- ③人が集まれる場所をつくりたい

⇒真岡市の魅力を知ってもらうのに適している

### ③視察先

ワラサンキャンプサイト（益子町北中437-1 はぎわら観光(株)内） 運営事業者：はぎわら観光(株) 事業内容：旅行業及びバス事業 など

- ・コロナ禍で観光客の減少を機に、2020年に社員総出でキャンプ場の整地を実施
- ・利用客の5割が県内利用者、県外からは新潟県、長野県、岩手県などからの利用がある
- ・市街地に近いという利便性、安全性からファミリー層から女性のソロキャンプまで幅広い層に利用されている
- ・すぐそばに真岡鉄道の線路があることから、SLなどを見ることができると、ロケーションにも優れている
- ・以前はサツマイモの収穫体験など開催していたが、現在は人手不足により休止中
- ・すべてが整備されているわけではなく、伐採されている樹木を自由に机やいすとして利用できるなど、利用者が自ら考え、体験できる関わりしろが用意されている。

### ④将来像

#### 【つながるキャンプの3つの柱】

##### みんなが集える空間

さまざまな人が集える空間が  
真岡市に増える

##### 休耕地・空き家の活用

空き家や休耕地を活用し、  
衛生面・景観の整備をはかる

##### 関係人口の増加

真岡市の内発的発展につながることや、  
真岡市を知ってもらう機会をつくる

**空き家や休耕地等の課題解決と  
真岡市の魅力発信等を  
【つながるキャンプ】で実現！**

### ⑤企画

#### 【自分たちで企画する事業】

- 日程：2月初旬ごろ
- 対象：大学生
- 場所：下籠谷地内の空き家、空き農地

※事業の明確化、企画の効果検証を踏まえ、  
3月の発表に向けた事業の整理を行う

#### 【当日のスケジュール（抜粋）】

11:00	現地集合
11:10	収穫体験
11:40	昼食（バーベキュー）
13:00	テント設営 くつろぎ・Freeタイム
16:00	テント片付け、たき火
	解散



いちご王国栃木の首都

# もおか

真岡市